

沿革 | 養豚研究所

- 昭和 12 年 酒田市大字宮海に山形県種鶏場として創設
- 昭和 38 年 山形県種鶏種豚場となる 種豚係を新設
- 昭和 39 年 豚の人工授精用精液の譲渡開始
- 昭和 46 年 山形県立畜産試験場中小家畜分場となる
- 昭和 47 年 豚後代検定、若雄直接検定事業を開始
- 昭和 51 年 山形県立養豚試験場となる 養鶏部門を山形県立畜産試験場へ移管
- 昭和 57 年 豚凍結精液利用実用化促進事業を開始
- 昭和 63 年 現在地に庁舎及び豚舎、付属施設等を整備移転 豚系統造成事業（豚の閉鎖群育種試験）を開始
- 平成 元年 株式会社平田牧場から中国豚（梅山豚雌雄一対）の寄贈を受ける（6月）
- 平成 3 年 併用検定開始
- 平成 6 年 系統豚「ヤマガタ L」完成（3月）
- 平成 10 年 第2次豚系統造成事業開始（7月）
- 平成 17 年 系統豚「ガッサンエル」完成（3月）
- 平成 17 年 試験研究機関の再編により、山形県農業総合研究センター畜産試験場養豚支場となる
- 平成 21 年 山形県農業総合研究センター養豚試験場となる
- 令和 2 年 山形県農業総合研究センター養豚研究所と改称